



# いばらき県議会だより

No.201

茨城県議会  検索 <http://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

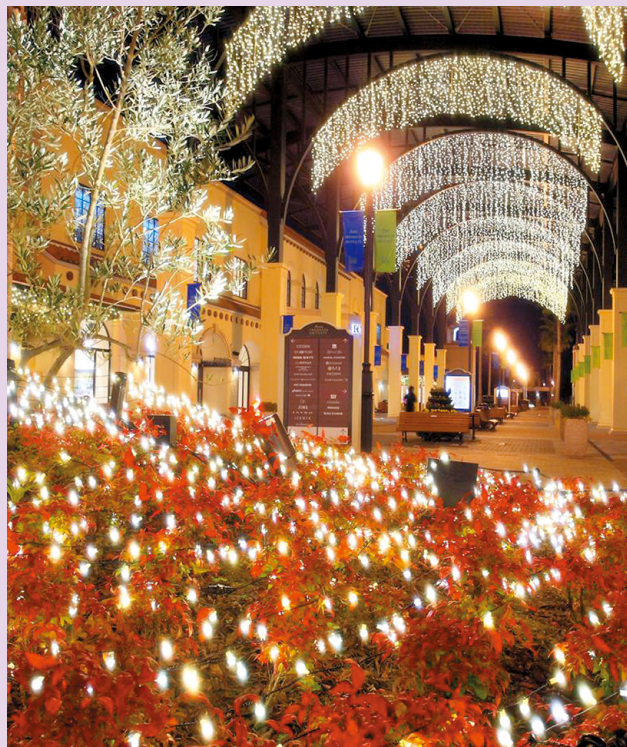
※ホームページでは本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています  
県議会携帯サイト <http://mobile.pref.ibaraki.jp/?page=3044>  
「いばキラTV」 <http://www.ibakira.tv/> 本会議および予算特別委員会を生中継しています



発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会

〒310-8555 水戸市笠原町978番6

Tel.029-301-5646 [年4回発行]



## 県内の主なイルミネーション・ライトアップ

県内では多くのイルミネーションなどが行われております。

(写真上)

茨城県フラワーパーク  
ウィンターイルミネーション(石岡市)

◆点灯期間 平成30年1月14日(日)まで

(写真下左)

水戸芸術館ライトアッププロジェクト

撮影:田澤 純

◆点灯期間 通年で開館日および年末年始

(写真下右)

あみプレミアム・アウトレット  
ウィンターイルミネーション

◆点灯期間 平成30年2月14日(水)まで

詳細は

観光いばらき <http://www.ibarakiguide.jp/>

## 今定例会の概要

平成二十九年第三回定例会は、十月三日から三十日まで二十八日間の会期で開かれました。

議案は、議員から、軽油引取税の課税免除制度の存続を求める意見書など、知事から、茨城県一般会計補正予算などが提出されました。

代表質問は、知事のリーダー像と新しい茨城づくり、多選禁止条例、知事の基本姿勢、来年度予算要求の方針などの項目について行われました。

(二) 三面  
一般質問は、県北振興に臨む知事の基本姿勢、つくばエクスプレスの県内延伸などの項目について行われました。

(四) 六面  
各常任委員会では、付託議案の審査、その他所管事務に関する質問を行いました。取手市立中学校の生徒の自殺事案に係る調査、観光振興を中心とした魅力度向上の取り組み、海外対象医師修学研修資金貸与制度の活用状況、なし輸出の今後の支援策、東関東自動車道水戸線の進捗状況、講師の服務規律確保などが議論されました。(七面)

国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会は、両大会の成功に向けた取り組みなどについて中間報告を行いました。(五面)

環境保全対策調査特別委員会は、森林湖沼環境税の在り方などについて中間報告を行いました。(六面)

予算特別委員会では、犬猫殺処分ゼロの取り組み、県北地域の公共交通の充実などの質疑が行われました。(八面)

決算特別委員会は、平成二十八年度茨城県公営企業会計決算の認定などについて審査しました。(四面)

今回の定例会では、予算、条例、人事、報告、意見書、請願などの十七件の議案などが可決、同意、承認、採択されました。



### 代表質問※(要旨)



議員 洋治 常井  
市民党 出選  
市選 方式  
一括

#### 知事のリーダー像と新しい茨城づくり

議員 知事は、リーダー像をどのように考えるのか。また、どのような新しい茨城を創っていくのか。さらに、新しい県総合計画の策定については、どのように考えるのか。

知事 リーダーは、将来への明確なビジョンを示し、改革に積極果敢に挑戦し、活力がある住みよい茨城づくりを牽引することが求められる。年内を目途に新たな県政のビジョンを策定し、来年九月を目途に県総合計画を策定したい。

#### 極めて深刻な医師・看護師不足への対応

議員 知事は選挙戦で「医師・看護師不足非常事態宣言」を提唱し、「抜本的に解消するため、関係各方面の協力を得てあらゆる手段を講じる」、「医科大学の

|       |           |                  |
|-------|-----------|------------------|
| ● 質問者 | 10月6日(金)  | 常井 洋治 (いばらき自民党)  |
|       | 10月10日(火) | 白井 平八郎 (自民県政クラブ) |
|       |           | 八島 功男 (公明党)      |
|       |           | 長谷川 修平 (民進党)     |

## 第3回定例会の主な日程

平成29年第3回定例会は、以下の会期日程で開催されました。

- 10月3日(火) 本会議 (開会、知事提出議案説明)
- 10月6日(金) 本会議 (代表質問・質疑)
- 10月10日(火)
- 10月11日(水)
- 10月12日(木) 本会議 (一般質問・質疑)
- 10月13日(金)
- 10月16日(月)
- 10月18日(水) 常任委員会
- 10月20日(金) 本会議 (予算関係議案常任委員長報告等)
- 10月23日(月) 国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会
- 10月24日(火) 環境保全対策調査特別委員会
- 10月25日(水) 予算特別委員会
- 10月26日(木) 決算特別委員会
- 10月30日(月) 本会議 (委員長報告、採決、閉会)

誘致・新設を白紙の状態から調査検討する」と訴えた。医師・看護師の確保に対してどのような策を講じるのか。

知事 医師・看護師確保対策を最優先課題とし、これまでの取り組みに加え、医科大学の新設・誘致に係る調査を含む、あらゆる方策を検討していく。抜本的解決に向けて、失敗を恐れず、今までの常識を疑い、不退転の決意で挑戦する。

議員 県立中央病院は、老朽化、狭隘化が進み、手術室不足が常態化している。現在新棟建設が計画されているが、災害拠点病院として早急に免震構造にしなければならぬことから、二重投資を避け、全面建て替えを行う方がよい。医療と科学技術の連携を進めて先進的な医療機能とすること、医師養成センター機能を持つことを提案するが、病院の将来像についてどのように考えるのか。

#### 県立中央病院の全面建て替えと将来像

議員 県立中央病院は、老朽化、狭隘化が進み、手術室不足が常態化している。現在新棟建設が計画されているが、災害拠点病院として早急に免震構造にしなければならぬことから、二重投資を避け、全面建て替えを行う方がよい。医療と科学技術の連携を進めて先進的な医療機能とすること、医師養成センター機能を持つことを提案するが、病院の将来像についてどのように考えるのか。

知事 医師養成機能を持つ施設として、全国から若手医師を集め、地域医療を支える病院としたい。病院の施設整備については、議員の提案を受け、全面建て替えることも含め、最適な整備の在り方を一から総合的に検討していく。

#### 時代の潮流を踏まえた新たな産業と雇用創出に向けた政策展開

議員 海外への事業展開や販路拡大、対日投資の県内誘致に重点を置きながら、「スタートアップ※立県」を目指すべきである。工業団地への企業誘致については、売却単価の思い切った引き下げと、新しい産業の集積づくりを理念とし、新しい発想と戦略で対処すべきである。新たな産業と雇用創出に向け、政策をどのように展開していくのか。

知事 ベンチャー企業が次々に成長していくようスタートアップを積極的に支援する。工業団地の分譲価格を引き下げるとともに、食品産業の誘致などにより既存産業との新たな連携による相乗効果を生み出す。対日投資の拡大、サービス産業や観光産業、スポーツ産業なども視野に入れて、新たな産業政策を早急にとめる。

#### 茨城の新しい教育の在り方

議員 知事は、ネットを活用した通信制高校を立ち上げた経験を持っている。新しい時代の教育の形として興味深く感じているが、自身の経験や教育の課題を踏まえ、茨城の新しい教育の在り方について、どのような考え方を持っているのか。

知事 日本一のICT教育先進県を目指していく。インターネットを利用したプログラミン



県立中央病院産科における出産の様子

### 今定例会で可決された議案

- ◆議員提出
  - 軽油引取税の課税免除制度の存続を求める意見書
  - 参議院議員選挙制度の抜本的見直しを求める意見書
  - 道路財法による補助率高上げ措置の継続と道路整備予算の確保を求める意見書
- ◆意見書
  - 副知事の選任について
  - 教育委員会教育長の任命について
- ◆その他
  - 取手市立中学校の生徒の自殺事案に係る調査に関する事務の受託について
  - 県が行う建設事業等に対する市の負担額について
  - 国及び県等が行う土地改良事業に対する市町村の負担額について ほか四件
- ◆知事提出
  - ◆平成二十九年度補正予算関係
    - 一般会計予算
- ◆条例の制定
  - 取手市立中学校の生徒の自殺事案に係る調査委員会条例
- ◆条例の一部改正
  - 茨城県手数料徴収条例の一部を改正する条例
- ◆報告
  - 地方自治法第七十九条第一項の規定に基づく専決処分について

### 可決された意見書

- 軽油引取税の課税免除制度の存続を求める意見書
- 参議院議員選挙制度の抜本的見直しを求める意見書
- 道路財法による補助率高上げ措置の継続と道路整備予算の確保を求める意見書

### 採択された請願

- ◆総務企画委員会
    - 軽油引取税の課税免除制度の存続を求める請願
- (全文はホームページでご覧になれます)

### 質問方式について

議員は次のいずれかの質問方式を選択できます。

- 一括方式 質問項目全てについて一括して質問し、一括して答弁を求める方式。
- 分割方式 質問項目ごとに分割して質問し、その都度、答弁を求める方式。

※【代表質問】…会派を代表して行う質問を代表質問といいます。茨城県議会の場合には、4人以上の会派が代表質問を行うことができます。なお、議員個人の立場で行う質問を一般質問といいます。 ※【スタートアップ】…「立ち上げ」や「起業」のこと。



### 代表質問(要旨)



議員 長谷川 修平  
進 市 選 出  
民 立 一 括 方 式

#### 多選禁止条例

議員 今回の知事選では多選の是非が争点となった。知事は選挙戦を通じて、多選禁止条例の制定を訴えてきた。制定に当たっては、その制限する多選の期数が重要なポイントであると考えられているが、所見は。

知事 これまでの国会での議論や他県の条例の規定などを踏まえると、三期または四期が一つの目安になるが、現時点で明確に答えるまでには検討が進んでいない。このため、外部有識者による検討も踏まえ、一期四年の任期中に条例化を図っていく。



議員 八島 功男  
明 市 選 出  
公 土 浦 一 括 方 式

#### 来年度予算要求の方針

議員 来年度予算編成を展望し、シーリングと新知事としての特色ある施策を進めるための予算要求をどう考えているのか。

知事 十五年連続で実施してきたマイナス・シーリングを取りやめる。また、重要政策等特別枠を新しい茨城づくりのための「知事特認枠」とし、一般経費のうち政策実現に向けて必要な

#### 東海第二発電所の再稼働と運転期間延長

議員 知事は、東海第二発電所の再稼働と運転期間延長について、一貫して「県民本位の安全対策の推進」と「県民の意見を十分反映し、再稼働の可否を慎重に判断する」と訴えていたが、今後どう取り組んでいくのか。

知事 新規制基準への適合性や延長認可申請に係る安全性の検証結果、原子力防災体制の構築の状況はもとより、地域経済への影響など幅広い観点から、県議会や県民の意見などを十分に踏まえ、県民の安全・安心を最優先に慎重に判断していく。

#### 県北地域の産業振興

議員 県北地域のものづくり産業の活性化を図るためには、いわゆる第四次産業革命の機会を逃さず、IoTやAIなどを積極的に活用すべきと考える。



中小企業の支援に活用される、IoTなど先端設備を完備した模擬スマート工場(県工業技術センター)

今後の県北地域の産業振興にどう取り組むのか。

知事 県北地域の中小企業の経営環境は大変厳しいことから、今後は、IoTやAIなど次世代技術などを活用した新分野への進出の支援や、企業同士の連携などによる競争力向上の支援を強化・拡充していく。

(ほかに、県北地域の医療体制の充実、県職員の意識改革なども質問)



議員 臼井 平八郎  
自民県政クラブ 結 市 選 出  
一 括 方 式

#### 知事の基本姿勢

議員 「活力ある、豊かで住みよい県づくり」が着実に整備された前知事在任中の成果は県民からも評価されている。それを土台として、基本理念として掲げた「活力があり、県民が日本一幸せな県」を目指して、挑戦する県政をどう進めていくのか。

知事 本県は東京圏に隣接し、広域交通ネットワークの整備が着実に進むとともに、世界最先端の科学技術の集積や全国屈指の農業など、他県にない強みを有する。本県の強みを生かしつつ、人口減少という困難な課題にひるむことなく向き合い「活

新規事業や事業拡充の予算要求の上限を撤廃し、県庁全体から常識にとらわれない多くのアイデアが提案されるようにする。

型奨学金制度創設に向けて、給付対象や所要財源の確保などを幅広く議論し、検討していく。

#### 茨城県給付型奨学金制度の創設

議員 子どもたちの勉学と社会貢献の意欲を喚起しながら、茨城出身の本格的人材の輩出と地域貢献を誘導する「茨城県給付型奨学金」を創設すべきと考えられているが、所見は。

知事 奨学金制度を通して茨城の発展を支える人材を育成し、確保するといった視点は大変重要と認識している。若者の定住促進などによる地方創生といった視点に立ち、茨城独自の給付

型奨学金制度創設に向けて、給付対象や所要財源の確保などを幅広く議論し、検討していく。

#### 東海第二発電所の最大二十年延長と再稼働

議員 東海第二発電所の二十年延長と再稼働について、毎年県が行う県政世論調査の設問に取り上げて県民の声を聞き、知事の総合的な判断を求めたいと思うが、所見は。

知事 再稼働について、県民の視点でしっかりと議論していくことが必要と考えている。東海第二発電所の安全性や必要性などの県民の具体的な問題意識を的確に把握していくことが重要であることから、その方法につ



茨城独自の給付型奨学金制度の創設を

力があり、県民が日本一幸せな県」を基本理念とし、未来に希望の持てる「新しい茨城」づくりに全身全霊で取り組む。

#### 茨城農業のさらなる発展

議員 茨城農業を成長産業として発展させ、もうかる農業を実現することを選挙戦で掲げていたが、さらなる茨城農業の発展に向けて、どう取り組むのか。

知事 経営感覚に優れた経営体の育成に努め、水田農業など土地利型農業では農地集積・集約化などを進めていく。施設園芸は、先進国オランダ農業も参考に、農業分野におけるICTなど先進技術の活用を促していく。さらに、国内外での本県農産物の知名度向上と販路拡大を図るなど、もうかる農業の実現に向けて取り組んでいく。

#### 大学入試制度の改革に伴う対応



本県の強みを、新しい茨城づくりに(科学技術が集積する筑波研究学園都市)

議員 現行の大学入試センター試験に代わり、大学入学共通テストが導入される大学入試制度改革に対し、どう取り組むのか。

教育長 大学入学者選抜改革等対策事業の実施などにより、新テスト対応の指導法確立と教員の指導力向上を図っていく。

### 県議会を傍聴しませんか

本会議は、県議会議事堂5階の受付で住所と氏名を記入すると傍聴できますので、ぜひお越しください。  
また、児童および乳幼児連れの方は、県議会議事堂1階の議会PRコーナーと5階の傍聴者ロビーおよび行政棟2階の県政シアターで本会議の中継をご覧いただけます。  
なお、授乳室やおむつ替えスペースをご希望の方には部屋をご用意いたしますので、職員にお気軽に声を掛けください。  
その他、手話通訳や委員会の傍聴など詳細については、県議会事務局議事課にお問い合わせください。



お問い合わせ先 議事課 電話 029-301-5634

※【IoT】…さまざまなモノがインターネットを通じて接続されること。一般的に「モノのインターネット」と訳される。  
※【AI】…人工知能。人間の脳が行っている知的な作業をコンピュータで模倣したソフトウェアやシステム。



一般質問(要旨)

●質問者

10月11日(水)

石井 邦一

(いばらき自民党)

安藤 真理子

(いばらき自民党)

加藤 明良

(いばらき自民党)

10月12日(木)

田村 けい子

(公明党)

岡田 拓也

(いばらき自民党)

鈴木 将

(いばらき自民党)

10月13日(金)

山中 たい子

(日本共産党)

中村 修

(いばらき自民党)

齋藤 英彰

(民進党)

10月16日(月)

長谷川 重幸

(いばらき自民党)

川口 政弥

(自民県政クラブ)

福地 源一郎

(いばらき自民党)



石井 邦一 議員  
いばらき自民党  
陸太田市選出  
一括方式

県北振興に臨む知事の基本姿勢

議員 県北振興は、県政の最重要課題として多くの県民が新知事に期待している。未来への投資を意図した財政運営と「県北振興局」設置など組織の見直しを期待するが、どのような姿勢で県北振興に臨むのか。

知事 未来を見据え新たな発想で、メリハリのついた財政運営に努め、県北を夢や希望の持てる元気な地域にする。組織については議員の提案も参考にしながら、ふさわしい組織の在り方を検討していく。

日本一子どもを産み育てやすい県を目指した医療環境の整備

議員 日本一子どもを産み育てやすい県の実現には、産科・小児医療体制の充実といった医療環境の整備を図る必要がある。新しい知事の下、どのように進めていくのか。

保健福祉部長 医師が働きやすい職場環境づくりに取り組み医師確保につなげるとともに、小児救急医療体制の重点化・集約化や広域的に分娩(ぶんべん)を取り扱う体制の整備など医療環境の充実に努めていく。

(ほかに、国の地方大学・地域産業振興事業の活用、未来につなぐ茨城の自然環境なども質問)



日本一子どもを産み育てやすい県を目指して



安藤 真理子 議員  
いばらき自民党  
土浦市選出  
一括方式

つくばエクスプレス(TX)の県内延伸

議員 TXの県内への延伸が県勢発展のための切り札と考える。ぜひとも常磐線や茨城空港との接続を視野に入れた県内延伸の実現に向け、前向きな検討を重ねていただきたいが、所見は。

知事 TXの県内延伸については、TXの整備効果を県内に広く波及させるためにも大変有効な取り組みと考えている。県内延伸の実現は決して簡単ではないが、新しい手法などを常に模索しながら、あきらめずに挑戦していきたい。

レンコン産地の継続的な発展のための取り組み

議員 本県のレンコンの産出額は長年全国一位である。今後も維持していくためには、レンコン栽培の専門的で専属の組織を作るべきと考えるが、どう取り組むのか。

農林水産部長 レンコンの優良系統の選抜については、県やJA、生産者代表などで構成するプロジェクトチームにより取り組んでいる。さらに、今年度から病害虫の防除対策についても専門的なチームを立ち上げたところである。(ほかに、水郷体育館の空調整備、飲酒運転の根絶なども質問)



レンコンの収穫作業の様子(土浦市)



田村 けい子 議員  
公明党  
つくば市選出  
一括方式

つくばの科学技術を生かしたイノベーションの推進

議員 地方創生をさらに推進し、地域の成長を図る上で、つくばイノベーション・エコシステム※の構築が重要と考える。つくばの科学技術を生かしたイノベーションをどのように推進していくのか。

知事 大学や研究機関などと連携し、エコシステムのさらなる推進を図るとともに、次の技術シーズを事業化に結び付ける取り組みを進めていく。さらに、研究で得られた成果の積極的な発信などにより、企業の成長を支援していく。

発達障がい教育の推進

議員 子どもたちの自立と社会参加を促進するためにも、個別の指導計画や教育支援計画の作成・活用を推進するなど、発達障がい教育の強化が望まれるが、所見は。

教育長 計画の活用方法などをまとめたガイドブックを作成し、就学前段階や高等学校における作成率の向上と活用を図っていく。また、保幼小接続カリキュラムなどに作成・活用を位置付けていく。(ほかに、循環型社会の構築と食品ロス対策、選挙におけるバリアフリー化なども質問)



発達障がい教育のさらなる推進を



加藤 明良 議員  
いばらき自民党  
水戸市選出  
分割方式

市町村合併の今後の在り方

議員 県は、最終的な市町村数が十七となる合併パターンを示したが、道半ばである。県の発展には、政令指定都市など、強い行財政基盤を持つ都市が必要と考えるが、市町村合併の今後の在り方は。

知事 県が合併を主導するのではなく、市町村や住民が中心となつて議論を深め、地域の自主的、主体的な取り組みにより、地域間のさらなる連携が進むことを期待しており、市町村の意向を聞きながら、県として適切な支援を行う。

茨城県の情報発信とテレビ局の開設

議員 テレビの持つ影響力は大きく、郷土愛の醸成や魅力の発信、防災・減災の観点から、県内全域で視聴できる民放テレビ局の開設を検討すべきと考えるが、所見は。

知事 県域民放テレビ局は、資金確保などの課題から開局に至っていない。今後、新たにPR戦略を策定する中で、映像による情報発信の在り方について、さまざまな観点から幅広く検討していく。(ほかに、地域医療構想と医師不足対策、農業の集積・加工施設設置の可能性なども質問)



政令指定都市の誕生を

決算特別委員会を開催しました

決算特別委員会(伊沢勝徳委員長)では、十月十六日に付託された「平成二十八年度茨城県公営企業会計決算の認定」および「平成二十八年度茨城県公営企業会計決算の認定」について、十月二十六日に委員会を開催し、審査を行いました。審査にあたっては、公営企業を所管する企業局、病院局、土木部の各部局から事業実績など

どの説明を聴取するとともに、監査委員に決算審査意見を求め、詳細な審査を行いました。今後は、同じく十月十六日に付託された「平成二十八年度茨城県一般会計及び同特別会計歳入歳出決算の認定」について、閉会中に委員会を開催し、審査を行います。第四回定例会の会期中の委員会において総括質疑、採決を行う予定です。

※【つくばイノベーション・エコシステム】…つくば地域において、社会的インパクトのある研究を事業化させ、その知見やノウハウを蓄積し、絶え間なく次々と成功事例を創出する循環システム。



### 一般質問(要旨)



議員 岡田 拓也  
いばらき自民党 出  
高萩市選出 一括方式

#### 本県におけるこれからの文化振興

議員 伝統文化の継承とともに魅力ある文化先進県となるためには、新たな目標を立て文化振興を進めていくべきと考えるが、所見は。

知事 県民が文化活動に親しむ環境づくりや子どもたちの育成に力を入れる。古民家を活用し、若手芸術家を誘致するなどの茨城芸術村構想の検討を進める。また、茨城国体や東京オリンピック・パラリンピックの文化プログラムの実施などにより、文化活動や地域の継続的な活性化を図る。



議員 鈴木 将  
いばらき自民党 出  
つくば市選出 一括方式

#### つくばエクスプレスの延伸

議員 つくばエクスプレスの県内外への延伸は、利便性向上、交流促進、雇用創出などが期待できる。地域の活性化に向け、積極的に取り組むべきと考えるが、所見は。

知事 東京への延伸は、沿線開発の一層の進展、観光振興や定住促進など幅広い分野で大きな効果が期待でき、早期実現に向け、関係者の合意形成に向けた環境整備などを進めていく。また、県内延伸の実現に向け、今までの考え方にとらわれずに精一杯挑戦していく。

#### 自治体アプリを活用した情報発信

議員 災害情報をはじめとした県政情報が自動的に通知されるプッシュ型の情報発信であり、受信する側も必要な情報を選択できるスマートフォンアプリの活用など、若者世代の利用も期待できる新たな情報発信方法についての所見は。

理事兼政策審議監 他県でのアプリ導入事例における効果と課題や既存のアプリの活用なども含め、新たに策定するPR戦略においてより幅広い側面から検討を進める。  
(ほかに、障がい者の就職支援、地域防災力の強化なども質問)



美術展覧会「茨城県芸術祭」

#### 本県産の日本酒の振興

議員 本県産の日本酒の振興に向けて、ブランド力向上や販路拡大にどのように取り組んでいくのか。

商工労働観光部長 新たに、高度な醸造職人を育成し、優秀な職人の認定制度を創設する。また、都内での試飲商談会や県内でのセミナーの開催、専門雑誌の活用などにより、販路拡大に取り組む。(ほかに、テレワークを活用した本社機能の誘致、緊急時の情報提供体制の強化、力強い農業を支える農業生産基盤整備の推進、ジビエの利活用の推進なども質問)



日本酒で乾杯推進会議茨城大会の様子



議員 山中 たい子  
日本共産党 出  
つくば市選出 一括方式

#### 原子力行政

議員 県民の多数が東海第二原発再稼働に否定的である中、県では県民生活や健康への影響、広域避難計画の実効性を検証するプロセスがない。福島第一原発事故の教訓をどう捉え、県民の声をどう反映させていくのか。

知事 県民の安全・安心の最優先を教訓とし、安全対策の検証と原子力防災体制の構築を進め、県民の理解の醸成を図った上で、県民の声にしっかりと耳を傾け、再稼働に係る対応を適切に判断する。



議員 中村 修  
いばらき自民党 出  
取手市選出 一括方式

#### 遠隔医療の推進

議員 遠隔医療の普及に向けた環境が急速に整備されつつある中、その実現に向け全国の先駆けとなるような取り組みにチャレンジし、一歩でも二歩でも前進することを期待するが、今後の取り組みは。

知事 遠隔医療の推進については、策定中の第七次保健医療計画に盛り込むべく、現在、関係者の意見も聞きながら議論を重ねている。今後、遠隔医療の活用が重要になってくることから、その活用を積極的に推進していく。

#### 教育費の負担軽減

議員 どの子も可能性を伸ばすことができるよう、知事は教育費の負担軽減に直ちに踏み出すべきである。私立高校の施設費を含めた保護者負担をさらに軽減するとともに、奨学のための給付金の給付要件を拡大すべきだが、所見は。

知事 私立高校については、まず授業料および入学金への支援の充実で負担軽減を図る。奨学のため給付金は、文部科学省の有識者会議での検討状況を注視していく。  
(ほかに、医療的ケア児支援、常総市水害被害者支援なども質問)



教育費の負担軽減を

#### 消防団員の確保

議員 地域の消防・防災力の確保には、消防団員の確保が喫緊の課題である。優遇制度の導入促進や女性も含めた団員確保の取り組みは。

生活環境部長 広報紙や研修でのPRのほか、本年度から消防団の活用について県教育庁などに要請している。また、被雇用者が多数のため、活動環境の整備に努める。女性団員の加入促進も含め、引き続き積極的に取り組んでいく。  
(ほかに、民生委員の確保、芸術を生かした地域づくりなども質問)

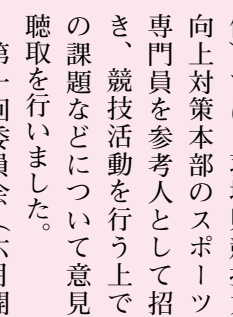


県立医療大学入学式における消防団のPR

#### 国体・障害者スポーツ大会 推進調査特別委員会

両大会の成功や競技力向上などに向けて活発に議論

平成三十一年に本県で開催予定である国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の推進、および、これらを活用した地域づくりなどに関する諸方策について調査・検討を行うために設置された「国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会」(海野透委員長)は、昨年六月に第一回委員会を開催して以降、これまでに十三回の委員会を開催し、活発な議論を行ってきた。さらに、第十一回(七月開催)では、茨城県競技力向上対策本部のスポーツ専門員を参考人として招き、競技活動を行う上での課題などについて意見を聴取を行いました。第十回委員会(六月開催)では、公益社団法人さいたま観光国際協会から参考人を招き、国体を契機としたスポーツツーリズムの振興について意見を聴取を行いました。また、スポーツ文化の振興や産業振興、おもてなし活動の展開など、両大会を通じた地域振興策などについて、関係部局からの説明聴取および審査を行いました。



第九回委員会(五月開催)では、茨城県競技力向上対策本部のスポーツ専門員を参考人として招き、競技活動を行う上での課題などについて意見を聴取を行いました。

今定例会の最終日(十月三十日)には、委員会で取りまとめた「両大会の成功に向けた取り組み」などについて中間報告を行いました。委員会では今後も、両大会の成功に向けた諸方策について、引き続き審査を進めてまいります。





一般質問(要旨)



議員 齋藤 英彰 党出 進市選出 民日立一括方式

目指すべき県北地域の将来像

議員 県北振興においては、知事が中長期的な視点に立ち、「県北地域をこういふふうにした」との明確な将来像を描くことが不可欠である。目指すべき県北地域の将来像をどのように思い描くのか。知事 最も大事なのは、地域発展のためのアイデアを、地域の皆さまが主体的に考えることである。皆さまと一緒に地域や将来のことを考え目指すべき方向性を共有しながら、県北地域を含めた県の将来像を描き、示していきたい。



議員 長谷川 重幸 党出 民日立一括方式

茨城中央工業団地の新たな誘致活動

議員 茨城中央工業団地の企業立地推進のため、食品関連企業などに絞った提案型の誘致や大規模イベント開催による知名度向上など、新たな誘致活動が必要と考えるが、今後どう取り組むのか。企画部長 既存産業の集積や立地環境の優位性を生かせる企業などに対して誘致活動を展開するとともに、各種セミナーの開催や広告掲載などにより知名度の向上を図るほか、分譲価格の見直しも行く。全力で企業誘致に取り組んでいく。

豪雨災害に対する防災力の強化

議員 見直し後の洪水浸水想定区域図では、地域全体が浸水する箇所も見受けられる。広域避難の方向性も視野に入れるべきと考えるが、防災力強化への取り組みは。生活環境部長 市町村と設置している「広域避難検討ワーキンググループ」において、大規模水害を想定した広域避難計画策定のためのガイドラインを作成し、各市町村の計画づくりを支援していく。(ほかに、災害時避難行動要支援者への対応、茨城国体などの成功に向けた取り組みなど) 広域避難検討ワーキンググループの様子



広域避難検討ワーキンググループの様子

「桜の郷」のさらなる充実

議員 福祉施設や商業施設などの立地が進む「桜の郷」の今後の整備見直しは。また、救急医療機能の充実のため、さらなるアクセス性向上が必要と考えるが、所見は。保健福祉部長 工事の進捗は九割を超えており、事業の終息を見据えてスピード感を持って進める。また、現在アクセス道路として使われている市道、町道について、道路管理者である水戸市、茨城町に道路整備の検討を要請する。(ほかに、農業ICT推進、県立高校のエアコン整備など) 整備が進む「桜の郷」



整備が進む「桜の郷」



議員 川口 政弥 党出 民日立一括方式

女性が活躍できる環境整備

議員 女性が希望に応じた生き方・働き方を選択しながら、さまざまな分野で個性と能力を発揮し、活躍できる県にしていける必要がある。そのため環境づくりが今後どのように取り組んでいくのか。知事 ICTなどを活用した多様な柔軟な働き方の実現や女性が働きやすい職場づくりに向けた企業の取り組みを重点的に促進する。また、保育サービスの充実や労働時間短縮に向けたキャンペーン、女性の起業支援なども行っていく。

いじめ問題への対応

議員 過去のいじめを教訓とする形で、県のいじめ防止基本方針に基づく実効性のある対策が必要である。今後どのようにいじめ防止対策に取り組んでいくのか。教育長 就学前教育や来年度から教科化される道徳の授業を通じて、子どもたちの思いやりの心や規範意識を育てていく。また、関係者が法制度への理解を深め、過去の教訓を生かすべく、個々のいじめ事案に適切に対応するよう努めていく。(ほかに、若者への支援、常磐線の充実なども) 女性向けキャリアアップ講座の様子



女性向けキャリアアップ講座の様子



議員 福地 源一郎 党出 民日立一括方式

原子力事業と核のゴミ処理

議員 原子力発電に伴い発生する高レベル放射性廃棄物などの処理について、世界屈指の研究機関を有する本県において、最新の処理技術の研究開発を国に要求するべきと考えるが、所見は。知事 最新の処理技術として、東海村のJ-PARCを活用した核変換実験計画があり、その予算措置について、引き続き国に要望する。それ以外に、今後、新たな核の廃棄物問題の研究施設の集積など、可能性があれば、検討する。

在宅医療と介護の連携体制構築

議員 在宅介護の希望をかなえるため、在宅医療と介護の連携を推進し、地域全体で支援体制を構築することが重要と考えるが、今後どのように取り組んでいくのか。保健福祉部長 医療機関の在宅医療への参入促進や、複数医師の連携体制の構築などに取り組むとともに、在宅医療を支えるためのICT活用を支援する。また、介護する家族が孤立しないよう地域全体でサポートする体制を構築する。(ほかに、国民健康保険制度改革、非正規教員の処遇改善など) 善な体制整備が求められる在宅医療



善な体制整備が求められる在宅医療

環境保全対策調査特別委員会

環境保全等に関する諸方策について調査・検討するため設置された「環境保全対策調査特別委員会」(小川一成委員長)では、これまで五回の委員会を開催し、精力的に議論を行ってまいりました。第一回委員会(五月開催)および第二回委員会(六月開催)では、霞ヶ浦の水質汚濁や森林環境の問題をはじめ、地球温暖化や生物多様性、廃棄物など、本県が直面しているさまざまな環境問題をテーマに取り上げました。それぞれの現状や課題、県における取り組み状況などについて審査し、理解を深めました。第三回委員会(八月開催)では、課税期間が今年度末までとなっている森林湖沼環境税の在り方などについて審査を行いました。また、来年開催予定である「第十七回世界湖沼会議」に関して、会議開催に向けて取り組むべき事項などについて活発に議論を交わしました。さらに、九月には「国立環境研究所」および「霞ヶ浦環境科学センター」を視察しました。水質浄化などに関する研究成果や独自の浄化技術などについて調査を行いました。そして、第四回委員会(九月開催)および第五回委員会(十月開催)では、審査の論点を整理するとともに、委員会として提言すべき事項などについて幅広く意見を交換を行いました。今定例会の最終日(十月三十日)には、森林湖沼環境税の在り方などについて中間報告を行いました。委員会では、最終報告に向けて引き続き審査を進め、議論を深めてまいります。



環境保全対策調査特別委員会



環境保全対策調査特別委員会



# 常任委員会の審査から

## 総務企画委員会

### 取手市立中学校の生徒の自殺事案に係る調査結果は報告書が提出された段階で、事実関係を公表する

**問** 取手市立中学校の生徒の自殺事案について、県は調査結果をどのように公表し、市に対してどう対応するのか。

**答** 調査委員会から県に報告書が提出された段階で、事実関係について公表する。また、調査において、市教育委員会や学校における不適切な対応などがあれば、県教育委員会が適切に指導する。

**問** 年内に県政のビジョンを、来年九月までに総合計画を策定するそうだが、ビジョン策定に向けた取り組み状況は。

**「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向けて**

<4つの「新しい茨城」づくりの政策>

- 「新しい豊かさ」：質の高い雇用の創出など
- 「新しい安心安全」：地域医療の充実、防災対策、治安対策の強化など
- 「新しい人材育成」：インターネットを活用した教育の推進、子育て支援の充実など
- 「新しい夢・希望」：観光創生や魅力向上など

大井川知事の新しい茨城づくり

## 農林水産委員会

### なし輸出の今後の支援策は産地などの意見を踏まえた支援策を検討する

**問** 日本からベトナムへのなし輸出が本年一月に解禁され、本県産約一〇〇トが輸出された。県も生産者とともに現地での販売促進を行ったが、今後の取り組みは。

**答** なしを扱う九店舗を回ったが、現地をよく知る業者と信頼関係を築くことが重要と感じた。今後は、産地や業者などと意見交換を行い、必要な支援策を検討していく。

**問** 森林湖沼環境税の意義を県民に伝えるため、「木育」に注目している。保育園などに木のおもちゃや遊具を導入することを支援してはどうか。



## 防災環境商工委員会

### 観光振興を中心とした魅力度向上の取り組みは相関性の高い観光意欲度の向上に向けて取り組む

**問** 本県の魅力度の向上に向けて、観光振興の役割は非常に大きいと思うが、今後、どのように取り組むのか。

**答** 地域ブランド調査の魅力度は、観光意欲度との相関性が高いと言われているので、調査結果をよく分析し、観光意欲度向上のための施策に精力的に取り組む。また、効果的な観光PRの手法についても検討していく。

**問** 災害時における支援物資の提供力の強化に向けて、どのように取り組むのか。



## 土木企業委員会

### 東関東自動車道水戸線(潮来～鉾田)の進捗状況は八割を超える用地を取得している

**問** 東関東自動車道水戸線(潮来～鉾田)の進捗状況は。

**答** 今年度は約八十億円の事業費で用地買収および地盤改良工事などが進められている。現在、八割を超える用地を取得しているが、難航用地もあることから、少しでも早く残る用地取得が進むよう、あらゆる方策を検討し、実行するよう国に要望していく。

**問** 原則として市町村が行う水道事業の経営基盤強化についての検討は。



## 保健福祉委員会

### 海外対象医師修学研修資金貸与決定者が出ており引き続き周知を図る

**問** 今年度新たに開始された海外対象医師修学研修資金貸与制度の現状と、制度を活用した医師確保への取り組みは。

**答** ハンガリーの国立医科大学の六年生一名に貸与が決定している。引き続き海外医科大学の日本国内事務局などを通じて制度の周知を図り、医師確保に努めていく。

**問** 県立中央病院については、全面建て替えを進めることを含め、一から検討するとの知事の方針が示された。手術室が足りない現状を踏まえ、早急に整備構想をつくるべきと考えられるが。



## 文教警察委員会

### 講師に対する服務規律確保の取り組みは校内研修や指導を行っている

**問** わいせつ事案をはじめとした教員による不祥事が相次ぐ中、常勤講師・非常勤講師に対する服務規律の確保にはどう取り組んでいるのか。

**答** 常勤講師については、正規職員と一緒に通常の校内研修を実施している。また、常勤講師や非常勤講師を対象に、服務規律も含めた指導を各教育事務所ごとに行っている。

**問** 児童相談所から県警に対する児童虐待の情報提供は、一%に過ぎないとの報道があった。さらなる連携が必要と考えるが、今後の対応は。





## 予算特別委員会

### ●質問者

**館 静馬** (いばらき自民党)  
**齋藤 英彰** (民進党)  
**江尻 加那** (日本共産党)  
**石塚 仁太郎** (いばらき自民党)  
**高崎 進** (公明党)  
**臼井 平八郎** (自民県政クラブ)  
**鈴木 亮寛** (いばらき自民党)

**館静馬委員(自民)** 犬猫殺処分ゼロを目指すという知事の選挙公約を果たすためにも、犬や猫を保護するための動物愛護センターを新たに設置すべきであると考える。動物愛護センターの定義はあいまいであり、全国の現存する動物愛護センターもさまざまな状況であるが、本県に同センターを設置するのか、しないのか。

**知事** 動物愛護行政を推進する上で、動物指導センターの問題点や他の自治体が設置した動物愛護センターにおける課題などを整理し、まず、関係者の意見を聞きながら、新施設の在り方を検討していきたい。

(ほかに、東町運動公園体育館への財政支援、世界湖沼会議開催に向けた霞ヶ浦の浄化も質問)

**齋藤英彰委員(民進)** 県北地域は他の地域と比べて、公共交通に関する改善の歩みが遅いように感じられる。今後、どのように県北地域における公共交通の充実を図っていくのか。

**知事** 中山間地域などの交通空白地域では「乗合タクシーや家用有償運送などの導入・拡充」、路線バスがあるエリアでは「運行ダイヤの充実などによるサービス水準の向上」、鉄道や高

速バスが通るエリアでは「それらと路線バスなどの乗り継ぎの円滑化」、こうした取り組みにより、県北地域の公共交通の充実に向け、市町村などと連携し、精一杯取り組んでいく。

(ほかに、県西地域のさらなる発展、もうかる農業、空き家対策も質問)

**江尻加那委員(共産)** 豊かな子ども

の生活の場であり、働く親の仕事と子育てを支える放課後児童クラブ(学童保育)の待機児童が増えている。施設が足りないだけでなく、大規模施設の分割や小規模施設への県補助の復活、指導員の処遇改善など思い切った支援拡充が必要と考えるが、所見は。

**保健福祉部長** 現在、待機児童は五百五十六人に増えている。県独自の調査により放課後児童クラブの詳細な状況把握に努めるとともに、指導員のスキルアップ研修事業や放課後児童クラブが個別に抱える課題の解決を図るアドバイザー派遣事業などを実施し、子どもたちの居場所づくりを支援している。

(ほかに、霞ヶ浦導水事業の中止、東海第二原発の再稼働問題なども質問)

**石塚仁太郎委員(自民)** ミュージアムパーク茨城県自然博物館は菅生沼の豊かな自然と一体となった教育施設である。最新の研究成果を展示に取り入れるなど、常に進化することを期待するが、今後のさらなる魅力向上と情報発信に、どのように取り組むのか。

**教育長** タブレット端末などのデジタル機器を用いた展示情報の提供ができる環境整備を進めるとともに、学校教育との連携強化や海外博物館との積極的な交流を図ることなどにより、魅力向上に努める。さらに、来年度開催される世界湖沼会議でも、自然環境保護の大切さと併せて、当博物館の魅力を世界にアピールしていく。

**高崎進委員(公明)** 少人数学級と

チーム・ティーチングを組み合わせた本県独自の少人数教育を、小学校全年と中学校一・二年生で実施しているが、中学校三年生および高校普通科への拡充の見通しは。

**教育長** 少人数教育は、学力や生徒指導はもとより学校教育全体の質の向上を図る上で有効な手法と認識しており、来年度の中学校三年生への拡充に向け、準備を進めている。また、高校においては、次期学習指導要領への対応や魅力ある学校づくりを推進する上で意義のあることから、どのような形で少人数学級を導入していくかを十分検討し、実現に向け取り組んでいく。

(ほかに、地方創生の推進、ジオパークの活用なども質問)

**臼井平八郎委員(自民)** 国内市場

の縮小が避けられない中、県内事業者が、特に中国市場に積極的に挑戦できるように、上海事務所組織体制を強化すべきと考えるが、所見は。

**知事** 中国はビジネスや観光面において重要な相手国であり、インバウンド関連の重要性の高まりから、平成三十二年より自治体国際化協会の北京事務所へ本県職員を派遣し、調査や情報収集などを連携して行う。中国を含むアジア諸国は大きな可能性があり、今後、総合的な海外戦略を見直していく中で、県内企業の積極的な海外進出を後押しできるように、上海事務所の役割や組織体制についてさらに検討していく。

(ほかに、繊維・プラスチック産業支援拠点整備事業なども質問)

### 議会人事



**◆新議員**  
八月二十七日の茨城県議会議員常総市選挙区補欠選挙で金子晃久議員が当選されました。八月三十日付で農林水産委員会委員に選任されました。

**◆議員辞職**  
十月六日付で石田進議員(神栖市選出)が、三十日付で桜井富夫議員(石岡市選出)が辞職されました。

**◆新人事**  
十月六日付で情報委員会委員長に萩原勇議員が指名され、決算特別委員会委員に館静馬議員が選任されました。

車両の八両化とみらい平駅への通勤快速列車の停車について、積極的に取り組むべきと考えるが、所見は。

注視し、八両化やみらい平駅への通勤快速列車の停車など、利用者の利便性向上につながる取り組みについて、関係自治体と連携し、鉄道会社において適切な対応がされるように求めていく。(ほかに、がん対策の推進、若者の就業支援と雇用対策なども質問)

### お知らせ

次回の、平成29年第4回定例会は、12月1日から21日までの21日間の会期日程で開催される予定です。

| 月日   | 曜 | 議事予定                                               |
|------|---|----------------------------------------------------|
| 12.1 | 金 | 議会運営委員会<br>本会議(開会、知事提出議案説明)                        |
| 2    | 土 |                                                    |
| 3    | 日 |                                                    |
| 4    | 月 | 休会(議案調査)                                           |
| 5    | 火 | 休会(議案調査)                                           |
| 6    | 水 | 議会運営委員会<br>本会議(一般質問・質疑)                            |
| 7    | 木 | 本会議(一般質問・質疑)                                       |
| 8    | 金 | 本会議(一般質問・質疑、議案常任委員会付託)                             |
| 9    | 土 |                                                    |
| 10   | 日 |                                                    |
| 11   | 月 | 休会(委員会審査準備)                                        |
| 12   | 火 | 休会(常任委員会)                                          |
| 13   | 水 | 休会(常任委員会)                                          |
| 14   | 木 | 議会運営委員会<br>本会議(予算関係議案常任委員長報告、<br>予算関係議案予算特別委員会再付託) |
| 15   | 金 | 休会(環境保全対策調査特別委員会)                                  |
| 16   | 土 |                                                    |
| 17   | 日 |                                                    |
| 18   | 月 | 休会(決算特別委員会)                                        |
| 19   | 火 | 休会(予算特別委員会)                                        |
| 20   | 水 | 休会(国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会)                          |
| 21   | 木 | 議会運営委員会<br>本会議(委員長報告、採決、閉会)                        |

### 政務活動の成果を公表しました

本県では、会派および議員の調査研究などに必要な経費として、政務活動費を交付しています。その成果を広く知っていただくため、議会のホームページで政務活動費の実施成果報告書を公表しましたので、ぜひご覧ください。  
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/seikatu/seika.htm>

お問い合わせ先 県議会事務局総務課 電話：〇二九(三〇一)五六一三

